

第21回「東京グリーンシップ・アクション」活動のお知らせ ～東京に残された貴重な自然環境を守る～

記者各位

当社(社長:西尾進路)は、環境貢献活動の一環として、2004年11月から東京都が主催する「東京グリーンシップ・アクション」に参加しており、12月1日(土)に予定されている今年度第8回目(通算21回目)の活動に、社員およびその家族がボランティアで参加しますのでお知らせいたします。

今年度の最終回となる今回の活動では、11月に脱穀したもち米を炊いてもちつきを行い、つきたてのもちで昼食をとります。社員ボランティアは、春の田おこしから秋の稲刈りまでの一連の活動を振り返り、収穫の喜びを分かち合います。

当社は、経営理念に「Environmental harmony(地球環境との調和)」を掲げ、今後も本活動をはじめ、「ENEOSの森」の森林保全等、様々な環境貢献活動を継続的に実施してまいります。

記

1. 東京グリーンシップ・アクション

保全地域※における企業・NPO等と東京都が連携した自然環境保全活動です。企業は一定の資金の提供とボランティア活動を行うことにより、都内の貴重な自然の保護や回復に協力します。

※「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づき、都が指定する地域です。良好な自然地や歴史的遺産と一体となった樹林など、都内に残る貴重な自然地を都民の大切な財産として末永く残していくことが目的です。現在都内には45カ所の「保全地域」があります。そのうちの9地域で本活動が行なわれています。

2. 当社の環境保全活動について

「図師(ずし)小野路(おのじ)歴史環境保全地域」にて、環境保全にかかわる地元農家の人々の指導のもと、社員ボランティアが年間を通じて自然と共存しながらの伝統的な農法による農業を体験します。

3. 協定期間 2007年3月19日～2008年3月31日

4. 活動場所 図師小野路歴史環境保全地域(東京都町田市)

5. 提供金額 年間100万円

6. 参加者 協定期間中に8回の里山保全活動を実施し、毎回、当社社員ボランティアが参加

7. 役割分担

- ◆東京都…活動の場の提供、道具類の貸与
- ◆NPO(町田歴環管理組合)…活動の運営
- ◆企業(当社)…資金の提供、社員ボランティアの参加

8. 今期の活動内容

通算回数	今期スケジュール	日程	活動内容	参加人数
14回	第1回	2007年4月14日	講義および保全地域内見学	19名
15回	第2回	2007年5月12日	草刈り、田おこし、水路の整備、畦補修	37名
16回	第3回	2007年6月16日	苗とり、田植え	42名
17回	第4回	2007年7月21日	田んぼの草取り、周囲の草刈り	21名

18回	第5回	2007年8月4日	ぬり干しと観察会	19名
19回	第6回	2007年10月20日	稲刈り、稲の架け干し	37名
20回	第7回	2007年11月3日	脱穀	30名
21回	第8回	2007年12月1日	収穫行事体験	27名 (予定)

今期参加人数 232名(予定)

【参考】実施回数 参加人数

第1期(2005年) 全7回 117名

第2期(2006年) 全6回 163名

9. 函師小野路歴史環境保全地域の概要

(1) 指定年月日: 1978年7月4日

(2) 位置: 町田市の北部、函師町、小野路町にまたがる区域

(3) 面積: 366,056㎡

(4) 概要: 町田市北部のなだらかに起伏する丘陵地。丘陵と谷戸が複雑に入り組んだ地形、典型的な里山の景観を成しており、丘陵部のクヌギ・コナラなどの雑木林と、谷戸部の耕作水田や湿性草地からなる多様な環境を反映して、多様な野生動植物が生息・生育する。地元農家を中心に結成された「町田歴環管理組合(任意団体)」が、都の委託を受けて、1996年度から昔ながらの農業手法による維持管理を行なっている。それにより、30年以上 耕作放棄した谷戸田や溜め池が復元され、美しい里山の景観とともに、貴重な野生動植物が回復し、良好な自然環境を保全している。

10. 前回(第20回)活動の様子



脱穀



わらぼっち制作